

留学報告書 2024 年度 交換留学 栗山佳子

ニューヨークは、本当に毎日何かが起きているので刺激的な日々を過ごしていました。ニューヨークの街を一言英語で表すなら、chaotic です。もしベトナム料理が食べたいなら、すぐお店を調べて食べることができる。色々な人種の人達が居て、色々なカルチャーが混在していて、誰をニューヨーカーと指すのか分からないくらいです。マンハッタン、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクス、と区切られていて、その場所で雰囲気が違います。私がステイしていたクイーンズのホワイストーンは、白人の人が多く治安も悪くありません。また、クイーンズのフラッシングエリアは中国人と韓国人が多く、アジア系料理が食べたかったらお店を発掘するのがおすすめです。私はタピオカをよく飲んでいました。リーマン・カレッジが位置するブロンクスは、汚い、臭いです。リーマン・カレッジに着く手前の、フォードムユニバーシティがあるフォードムエリアは夜になると治安が悪いです。叫んでいる人や麻薬でネジが外れている人、ホームレスがいます。日中も比較的同じようにそういう人達がありますが、目を合わせず、直観で危険だと感じたら遠く離れれば大丈夫です。マンハッタンや他のエリアでも、変な人は声をかけてくるので、目的地まで早歩きして無視すれば全然問題ありません。でも、特に用事がない限り行かない方がいい場所は、ブロンクスのハンツポイントエリアとサウスブロンクスです。サウスブロンクスは特に殺人が多いイメージです。身の危険をしっかりと考えて行動すれば、ニューヨークはとても過ごしやすいし、他の留学先とは比べられないくらいの大都会で、楽しい留学生生活を過ごせると思います。また、本当に人が優しいと思います。日本人より優しいと思ったくらいです。もちろん全員が優しいわけではないですが、その優しさを真似しようと思いました。

リーマン・カレッジでは、毎週水曜日にフリーフードが配られていたり、毎週色々なイベントが開催されているので積極的に参加することをおすすめします。また先生も留学生の面倒見が良いと思います。日本でもアメリカでも先生と積極的にコミュニケーションを取ることが、学びを深めるうえで大事だと思いました。先生は質問や反論も受け入れてくれるので、いっぱいコミュニケーションを取ることが1番留学で大事だと思いました。自分があまりできなかったのが後悔です。

大学で受講したのは、ジャーナリズム、哲学、英語、日本語のアシスタントです。自分の将来の夢と関連しているジャーナリズムのクラスは本当に受講して良かったと思いました。授業課題が常に街頭インタビューだったので、自分のコンフォートゾーンから日々抜け出す毎日でした。記事を書いて編集したり、音声記録を編集したり、アメリカの選挙日にはローカル新聞と一緒にインタビューを行ったりしました。実際にジャーナリストのアイリーン先生が、とてもはっきり言う人で、優しいけど厳しく、愛のムチがある先生でした。先生の授業を受講したおかげで、ブロンクスをいっぱい巡り回って知ることができたり、ジャーナリストがどのような仕事なのかちゃんと知ることができました。ま

た、精神も鍛え上げられました。期末試験は、クラスメイトとポッドキャストをしました。クラスメイトも同じように夢を持っているので、毎日ジャーナリズムの授業は充実して幸せでした。また、ニューヨークで活躍しているフォトジャーナリストや、ガザの戦争を記録しているジャーナリストが講演に来ていて、その人たちからもとても感銘を受けました。

哲学の授業では、主に差別や秩序について学びました。毎週、異なるテーマについてクラスでディスカッションをしました。哲学は思考に終わりがなくてちょっと嫌になりかけたけれど、自分がこれまで思いつかなかった視点に気づくことができ、普通の基準が分からなくなりました。差別の基準も分からなくなりました。また、黒人差別がどのようなものなのか深く知ることができたと思います。期末試験は、学習した内容を基に自分の意見を記述する内容でした。

英語の授業はオンラインで受講しました。どのように論文を書くかを学びました。期末は、グループで協力してパワーポイントを作る内容でした。個人的にオンラインの授業はおすすめしません。質問がしにくいのと、授業の全体像が掴みにくいためです。せっかくなので大学に行って対面で授業をすることをおすすめします。

日本語のアシスタントも受講しました。個人的に日本語を教えることに興味がなくて、もし興味がない人は受けなくてどんどん他の授業を受けるべきだと思います。授業外で週2日、オンラインで日本語を教えていました。夜7時から8時までの約1時間です。受講するメリットは友達作りです。

もし、自分の夢や興味が決まっているならその分野を積極的に受講することをおすすめします。そして、朝9時から始まる授業を受講することはおすすめしません。ステイ先から学校まで、約1時間半かかるので本当に大変です。朝5時半とかに起きないといけなくなります。夜も遅くまで勉強することを考慮すると、睡眠時間がなくなります。体調も崩すし、授業も集中できなくなります。睡眠時間が取れなくて疲れて、友達の遊びの誘いも断ったりしていました。この半年間は、本当に睡眠が大事だと学びました。なので、本当に朝9時の授業と夜遅く始まる授業は帰りが危険なので、受講することはおすすめしません。あと、もちろんバスは時間通りには来ません。留学に張り切ることはとても良いことだと思います。だけど、勉強と体調のルーティンが確立できるように予定を立てることが懸命だと思います。

最初は友人関係を心配していたけれど、全然心配しなくていいくらいに友達ができていくので大丈夫です。ニューヨーカーは日々疲れているイメージがあって、用事が済んだら皆すぐ帰宅します。なので、最初は交友を深めていくことが難しいと感じるかもしれないけれど、自分自身も次第にそうになっていくので問題ないです。友達に学校のイベントに誘われても、疲れたと言って断っていたのが後悔です。後半はちゃんと参加しました。せっかくなのでニューヨークにいたので、交友関係は無理して頑張ることをおすすめします。だけど、睡眠は大事です。ステイ先では本当に自由に過ごさせてもらっていて、ニュ

ーヨークをととても知ることができたのと、多くの人脈を作ることができました。週末は、何もない日はほとんどマンハッタン、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクスを約6ヶ月間の間で駆け巡りました。本当に知り尽くすのには1年でも足りないと思いました。すでに1回ニューヨークを訪れたことがあったので、天理教ニューヨークセンターの青年さんたちを知っていました。とても仲良くしてくれました。でも、ニューヨークセンターは日本人です。違うコミュニティの人と過ごす時の疎外感を感じた方がさらに自分が成長できると思います。同じコミュニティは本当に居心地が良いけれど、本当に何の変化も起きません。アメリカで色々な人と交友して、カルチャーショックを受けて、自分の思考がどんどん広がる面白さ、逆に理解できないもどかしさも体験することで良い経験になると思います。ニューヨークは人脈が広がっていくと本当に楽しい留学生活になると思います。積極的に街に出て、はじめましての空間に飛び込んでほしいです。大学で友達を作ることにとらわれずに、大学の外でも交友関係は作れます。芸能人と繋がることもありえう場所です。ニューヨーカーは新しい出会いや交友を育んでいくことを楽しんでいると思います。それが、ニューヨークで留学する魅力だと思います。変な人には注意して、ニューヨークを楽しんでほしいです。

留学を終えて、反省点はしっかり考えて授業をくむことです。ステイ先から大学まで約1時間半はかかることをしっかり考慮しなければいけなかったと思います。日本みたいに時間通りにバスが来るわけではないし、睡眠時間が全然安定なくて生活リズムが整わずに毎日を過ごしたおかげで、毎日疲れていたし、眠かったし、体調は結構崩れてしまったからです。睡眠は本当に大事だと思いました。

留学前と留学後で変わったことは、前よりも確実に社交的になったことです。それは受講したジャーナリズムの授業のおかげだと思います。先生が「今ジャーナリストではなくても、他の人達が望遠鏡で見ていることを、私たちはバルコニーからそれらを見渡さなければいけない」と言っていました。この意味は、遠い距離と狭い視野から抜け出して、近い距離で広い視野で物事を見なさいという意味です。この言葉のおかげで、行動せずにただじっとして見ていることはほぼなくなりました。ブロンクスは治安が悪いと言われているけれど、そこにどんな人達が生活しているのか自分で見ないと分からないように、最初から自分のエゴや他人の軸で決めないで、行動したり、コミュニケーションをとったりすることができるようになったと思います。

留学して良かったことは、何が嫌なのか、好きなのかなど、自分自身の性格がより正確に把握できるようになったことです。自分の感情に素直になることの大事さを学びました。また、人と自分が分かり合えないことを改めて理解しました。時にはイライラするし、腹も立つけど、ニューヨークにいと自分の普通は、普通ではないことが分かりました。価値観を分かち合えたら幸せを感じるけれど、分かちえないことに妥協することの大切さも学べて良かったと思います。

目標は達成できているか分かりません。でも、自分では色々達成していると帰国

した自分を振り返って感じています。新しい目標が次々に浮かぶので、どんどんクリアしていけるように後1年頑張りたいです。

留学する人にアドバイスするなら、留学先を決める時に人の意見に惑わされないこと、留学試験のライバルは自分であって、他人ではないことです。留学先は本当に大事だと思います。将来の自分が形成されていく過程で、約半年間か1年間過ごす場所だからです。そこで受けた影響や学びがこれからの自分に繋がっていくと思うから、自分がどんな人になりたいかやどんな仕事をしていきたいのか考えて、過ごす環境にこだわった方が良いでしょう。また、留学試験の時はネガティブになりがちで自分より人の事を気にしてしまいがちだけれど、本当に時間の無駄だから人を気にするなら勉強した方が良いでしょう。